

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和05年06月13日(火)

事務事業		交通政策企画調整事務		担当課	都市計画課	担当係	市街地整備係	管理番号	44311	
総合計画	大項目	5	快適で利便性の高いまち	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務					
	中項目	2	交通アクセスの便利なまちづくり	根拠法令 個別計画等	県北都市間路線バス維持対策協議会規約等					
	小項目	2	公共交通の維持確保と交通安全の推進							
	主要プロジェクト									
事業概要		市内の公共交通の維持・確保・改善を図るため、以下の取組等を行っている。								
目的 ※何のために		地域公共交通の確保・維持・改善及びこれらの促進。								
対象 ※誰・何を対象に		上記目的を達成するために組織された各協議会や運行事業者など。								
手段 ※どのように		負担金の支出、基金の積み立ておよび要望活動。								
成果 ※何を求めるか		地域住民の移動手段の維持・充実が図れる。								
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input checked="" type="checkbox"/> その他(民間事業者など)								
事務事業を 構成する 予算事業		区分	款	項	目	細事業名		前年度決算額(円)		
		一般会計	8	土木費	4	都市計画費	1	都市計画総務費	鉄道・路線バス利便性向上事業	8,853,000
本事業の 主な業務		・総合的な公共交通政策					・県北都市間路線バス維持対策協議会			
		・鉄道事業者に対する要望					・深谷市鉄道駅バリアフリー化設備整備事業			
		・高崎線輸送力増強推進協議会					・			
		・秩父鉄道整備促進協議会					・			
		・秩父鉄道再生支援協議会					・			
		・東上線複線化促進期成同盟会					・			

2. 事業費(投入コスト)

単位: 円

区分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
年度別計画		鉄道事業者に対する負担金 県北都市間バス対策協議会負担筋	鉄道事業者に対する負担金 県北都市間バス対策協議会負担筋	鉄道事業者に対する負担金 県北都市間バス対策協議会負担金 明戸駅トイレ整備			
事業費	予算(現額)	8,974,000	8,974,000	21,374,000	8,843,000		
	決算額	8,815,000	8,853,000	0	0		
	財源内訳	国支出金	0	0	0		
		県支出金	0	6,200,000	0		
		地方債	0	0	0		
		他特定財源	0	0	0		
		一般財源	8,815,000	8,853,000	15,174,000	8,843,000	
人件費	従事職員数(人)	0.40	0.42	0.42	0.42		
	人件費相当試算※	3,104,766	3,305,214	3,442,483	3,442,483		
総事業費試算		11,919,766	12,158,214	24,816,483	12,285,483		

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	
			実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所										
実績値の算出式											
活動指標 1	県北都市間路線バス維持対策協議会に係る補助額	目標値	千円								
		実績値		3,600.00							
	目標値の算定根拠/実績値の出所		協議会で補助額を決定するため目標値の設定になじまない / 深谷市の補助額								
	実績値の算出式										
活動指標 2	秩父鉄道整備促進協議会に係る特別負担金	目標値	千円								
		実績値		5,196.00							
	目標値の算定根拠/実績値の出所		協議会で負担額を決定するため目標値の設定になじまない / 深谷市の負担額								
	実績値の算出式										
成果指標 1	深谷・寄居線の年間運行本数	目標値	便								
		実績値		3,650.00							
	目標値の算定根拠/実績値の出所		現状の運行本数維持を目標とする。 / 1日運行本数×年間運行日数								
	実績値の算出式										
成果指標 2	秩父鉄道運行本数	目標値	本								
		実績値		30,304.00							
	目標値の算定根拠/実績値の出所		実績値は、計画ダイヤの運行本数とした。 / 武川駅								
	実績値の算出式										
成果指標 3	民間路線バスの年間利用者数	目標値	千人								
		実績値		73.54							
	目標値の算定根拠/実績値の出所										
	実績値の算出式										
成果指標 4	秩父鉄道の年間利用者数	目標値	千人								
		実績値		13,705.64							
	目標値の算定根拠/実績値の出所										
	実績値の算出式										

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に合う成果がでているかを評価します。
(評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	B	秩父鉄道整備促進協議会に係る特別負担金については、増額傾向にあるものの、県北都市間路線バス維持対策協議会に係る補助額は現状を維持しているものであることからこの評価としたい。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	B	アウトレットモールの開業に伴い、秩父鉄道や市内民間バスの運行本数は大幅に増加している。また、これに伴い、利用者数についても、コロナ前には届かないものの、増加していることからこの評価としたい。
			評価者 市街地整備係長 荒谷 匠

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
(評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	B	県北都市間路線バスについては、近隣自治体と協議会を組織し、市は運行補助を行っており、効率的な運行が図られているものである。今後は、効率化を向上させるために、運行ルートの見直しについても検討をしていきたい。また、アウトレットモールの開業が契機となり、民間主体での効率的な公共交通ネットワークの拡充が図られたものである。
			評価者 市街地整備係長 荒谷 匠

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和3年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	令和4年度に花園IC拠点地区にアウトレットモールが開業となることに伴い、新規公共交通の参入が予測される。市としては、現状の公共交通ネットワークを維持していくとともに、新規参入事業者へ対しても、市民の移動手段の維持・充実を図るため、費用対効果を鑑みつつ、積極的な支援を行っていく。
達成状況及び その効果	アウトレットモールの開業を契機に、秩父鉄道の運行本数が増便しているとともに、2本の民間路線バスが新運行となっている。 運転手不足等の社会課題により、公共交通の維持確保が課題となっている状況下で、現状は理想的な状況となっており、今後は維持確保に努めていくことが重要である。

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	交通政策企画調整事務	担当課	都市計画課	担当係	市街地整備係	管理番号	44311
<div><div><div><div><input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div><div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div></div></div>		評価の内容説明					
		アウトレットモールの開業を契機に、秩父鉄道の運行本数が増便しているとともに、2本の民間路線バスが新運行となっている。 運転手不足等の社会課題により、公共交通の維持確保が課題となっている状況下で、鉄道や路線バスの運行本数が増便となっていることは理想的な状況であり、今後も市内公共交通ネットワークの維持確保に努める。					
上記を実施するための具体的な取組内容は？		評価者	都市整備部次長兼都市計画課長 山中 勉				

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和5年度に実施する 改善・改革案 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	令和5年度は、地域公共交通計画の策定に着手し、「地域にとって望ましい地域旅客運送サービスの姿」を明確化していく。また、引き続き、深谷市地域公共交通会議を開催し、公共交通ネットワークの維持・確保に向けた協議を続けていく。
令和6年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	令和6年度以降も、地域公共交通計画に基づき、深谷市地域公共交通会議を通じ、交通事業者や住民・団体などの協議を重ね、公共交通ネットワークの維持・確保を目指していく。

8. 評価指標グラフ

